

目 次

はじめに——消費者法を学ぼうとする人にまず考えてほしいこと	1
1 「消費」と経済・法・政治・教育・自然環境・労働	1
2 大量「消費」と世界で起きる悲惨な出来事	2
3 消費者法の存在意義	3
4 消費者・生活者・消費者市民社会——消費者としての自分	4
5 自分はどう生きるべきか——デジタル社会・コロナ禍とウクライナ危機	5
Part 1 消費者法をどのように学ぶか？	7
I 自分の生活は「契約」によって成り立っている	8
II この本の構成	10
1 自分の消費生活の近辺	10
2 土台となる消費社会と世界	11
Part 2 自分の消費生活が誰かによって配慮され、 介入されているという事実	13
I 配慮？ 誰から？	14
1 消費者の権利	14
2 契約に入る前の規制	24
3 取引条件規制——約款規制	29
4 表示規制	32
5 行為規制——禁止・命令・民事規制	34
6 消費者団体訴訟制度——被害救済と拡大防止への支援	36
7 消費者教育——消費者市民の育成・消費者市民社会の生成	42

II	介入？ 誰から？	51
	1 便利な広告の課題——「便利さ」の名の下の広告	51
	2 行き過ぎた販売促進活動としての広告の問題	54
Part 3	消費者としての自分の権利を知る	59
I	契約を学ぶ	60
	1 買い物と契約	60
	2 売買契約と契約書	61
	3 契約と約款	62
	4 売買契約と消費者の権利	64
	5 消費者の権利と契約の自由	65
	6 選択の権利と消費者	66
II	消費者契約法を学ぶ	67
	1 どのようにしてこの法律はできたのか？	67
	2 なぜこの法律は存在するのか？	69
	3 消費者契約法が定めていることは？	71
	4 消費者契約法から学べることは？	76
	5 新しい考え方へ	79
III	特定商取引法を学ぶ	80
	1 いつ、なぜ制定されたのか？	80
	2 「特定の商取引」とは何だろう？	82
	3 「特定の商取引」についてはどのような規制が行われているのだろうか？	86
IV	割賦販売法を学ぶ	95
	1 どのようにしてこの法律はできたのか？	95
	2 なぜこの法律は存在するのか？	96
	3 割賦販売法が定めていることは？	98
	4 今後の課題——決済代行業者・BNPL・信用スコアリング	104

Part 4	自分を取り巻く消費社会	107
I	自分は何を消費しているのか？	108
	1 物・サービスの購入	108
	2 商品の価値とは？	111
	3 生物の価値とは？	120
	4 人間の価値とは？	123
	5 「経済的利益」による侵食からの人生の解放	124
II	自分を取り巻くデータ社会で何が起きているのか？	125
	1 「便利さ・利益・快樂」の対価としての「プライバシー提供」	125
	2 個人データ蓄積の結果「素晴らしい未来」が到来するのか？	130
	3 「目指すべき未来」とデータ収集	137
III	年齢は自分の消費生活にどのようにかわるのか？	141
	1 社会の変化と消費者相談の傾向	142
	2 高齢者の消費者被害とその救済の仕組み	143
	3 若者の消費者被害とその救済の仕組み	147
IV	オンライン取引で何が起きているのか？	156
	1 トラブルの状況	156
	2 立法上の対応	158
V	大量消費社会に流されていないか？	160
	1 どのようにして「真実」を知ることができるのか？	160
	2 自分はどのような社会で生きたいのか？	164
Part 5	自分を取り巻く社会と世界	169
I	消費社会と世界	170
	1 商品の製造	170
	2 食品	173
	3 食品の産地表示を学ぶ——国産の法的意味	174

4	食品や製品の安全のために消費者は何ができるのか？	177
---	--------------------------	-----

II 世界で起きる悲惨な出来事とSDGs 178

1	世界で起きる悲惨な出来事	178
2	SDGsとは何か？	178
3	SDGsの具体的な内容	181
4	SDGsの達成状況	188
5	いくつか、関連する事柄	188
6	最後に、日常を振り返ってみる	191

III 世界の国々から学べること 192

1	世界の消費者法	192
2	持続可能性と消費者法	209
3	デジタル・トランスフォーメーション	210
4	大量消費社会から脱却する試み	212
5	人間とその他の生物との関係	216

Part 6 一番大切なこと、忘れてはならないこと 229

1	消費者への配慮、権利と自律、そして消費の決定と責任	230
2	消費が環境に決定的な影響を与えるということ	231
3	自然環境の代替不可能性	234
4	生物としての人間	235
5	限りある資源と「消費者法」の役割	236

おわりに——この本を読んでくれてありがとう

索引